

MUFG

創刊号

のある暮らし Quality for You

トピックス 1

金融犯罪
に遭わないために

トピックス 2

お客さまの笑顔のために

トピックス 3

社会の一員として

個人向け業務のご紹介

日々の暮らしに**MUFG**

企業向け業務のご紹介

ビジネス シーンも
MUFG



特集 **MUFG活用術**
いま銀行はこう
集 **どきの銀行を使う**



MUFGのある暮らし

中間期ディスクロージャー誌 2006 活用編

特集

02 いまどきの銀行はこう使う

MUFG活用術

「いつでも、どこでも」がうれしい
「便利」と「安心」を手に入れる
専門家に聞く 資産運用のヒント
頼れる金融機関はスピーディー
違いが見える海外ビジネス

トピックス1

14 金融犯罪に遭わないために

トピックス2

16 お客様の笑顔のために

トピックス3

18 社会の一員として

個人向け業務のご紹介

20 日々の暮らしにMUFG

企業向け業務のご紹介

24 ビジネスシーンもMUFG

28 MUFGの概要

平成18年度中間期決算について
MUFGのグループ総合力
MUFGのネットワーク
MUFGの歴史

34 「MUFGのある暮らし」創刊に寄せて

36 プロフィール

平成19年1月発行
株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ
〒100-8330
東京都千代田区丸の内2-7-1
03-3240-8111 (代表)
編集責任:経営企画部 1R室

本誌には将来の財務状態および業績に関する記述が含まれています。
これらの記述は、経営を取り巻く環境の変化などにより異なる結果となり得ることをご承知おきください。

平成18年度中間期の詳細な財務データにつきましては、「中間期ディスクロージャー誌 2006 本編」をご覧ください。

本誌は年2回の発行です。

MUFG活用術

いまどきの銀行はこう使う

お金を預けて、必要なときに引き出す。今日、そのための方法はひとつではありません。それに、金融機関のサービスは預金だけではありません。自分流に使いこなして、便利な生活へ一歩前進しませんか？



「いつでも、どこでも」がうれしい

深夜に帰宅、インターネットでショッピング…。
このようなライフスタイルの変化に合わせて、金融機関のサービスも変わってきています。

ライフスタイルに合わせて
利用できる多様なサービス

土日も相談できる、
頼れる窓口

「ATMが便利にご利用いただけるようになりました」と話すのは、三菱東京UFJ銀行行リテール企画部の光岡さん。MUFUのATMだけでも約九千台。さらに、二四時間営業のコンビニATM約二万二千台、全国の郵便局ATM約二万五千台などが利用できます。

また、「自宅や移動中にも銀行取引ができるよう、インターネットや携帯電話などのサービス向上にも取り組んでいます」。

いつでも、どこでも、銀行のサービスを気軽に利用できる。そんな時代になっています。

「住宅ローンや資産運用について相談したいが、平日の日中は何かと忙しい」という方は少なくありません。MUFUでは、土日・祝日や平日の夜にも、住宅ローンや資産運用に関する悩みをじっくり相談できる相談会を開催しています。

インターネットで相談日時を予約したいという方には、三菱東京UFJ銀行のご来店予約サービス[※]が便利です。

また、社内外の経験豊かな講師陣による、利用者の目的に合った多彩なテーマのセミナーも開催しています。平成十八年十一月～十二月には、退職を迎える方に向けたセミナー「リタイアメント・アカデミー」を開催しました。

※三菱東京UFJ銀行は、F・N・E・I・A・T・M
オンラインATM、セブン銀行ATM、三菱UFJ
J信託銀行はF・N・E・I・A・T・Mと連携

ATMの手数料が 一部無料でおトク

平成十八年五月から、個人の利用者が三菱東京UFJ銀行の利用者または三菱UFJ信託銀行にお持ちの口座から、両行のATMまたはコンビニATM[※]でキャッシュカードにて振込をする場合、本支店間および両行間の振込手数料は無料になりました。

また、三菱東京UFJ銀行では、コンビニATM[※]については、無料化(平日八時四十分から十八時)を含む利用手数料引き下げを実施する予定です(平成十九年三月中)。

※口座を所有する銀行・ATMが対象
※※三菱東京UFJ銀行のキャッシュカードのみが対象



インターネット、携帯電話を 通じたサービスが拡大

三菱東京UFJ銀行の「三菱東京UFJダイレクト」は、インターネットや携帯電話から取引ができるサービスです。振込、振替はもちろん、投資信託、住宅ローンの申し込みも可能です。ATMでの取引と同様に、本支店間および三菱UFJ信託銀行への振込であれば手数料はかかりません。

他業種との提携も進めています。平成十八年八月には、インターネット取納代行会社「ベイジエント」が営業を開始したほか、平成十九年度にはKDDIと共同で日本初のモバイルネット銀行を設立する予定です(関係当局の許認可等を前提)。



「便利」と「安心」を手に入れる

キャッシュカードは便利な反面、盗難や偽造の可能性も。安全に利用するには、カード選びにコツがあります。

スーパーICカード

三菱東京UFJ銀行のスーパーICカード「三菱東京UFJ J・VISAコンビタイプ」は、不正な読み取りや偽造がされにくいICチップを使っています。利用金額に応じてICチップと磁気ストライプを使い分け可能な、「安心」と「便利」を兼ね備えたクレジット二体型キャッシュカードです。

キャッシュカードとしては、ICチップを搭載していることで、「安心」して利用できます。「手のひら静脈認証」を利用すれば、より安全です。IC対応ではないATMや他行ATM等を利用する際には、「磁気ストライプ」のキャッシュカードとして「便利」に利用。利用限度額を低く設定しておけば、万一、磁気ストライプ部分を偽造されても、不正取引の被害額を抑えることができます。



ATMでもセキュリティ強化

同時に、ATMを利用する際のセキュリティも強化されています。

例えばのぞき見を防ぐために、MUFGではATMに後方確認用ミラーや偏光シートを設置しています。

また、万一の被害を早期に発見するため、ATMでの引き出しについて不自然なものがあある場合には、銀行から連絡し、本人の取引に間違いがないかどうか確認をしています。

なお、キャッシュカードの二日当たりのATM利用限度額の設定や、暗証番号のATMでの変更も可能です(いずれも無料)。

クレジットカードとしては、年会費無料。さらに、利用代金の引き落としが1円でもあれば、ATMの時間外手数料も無料[※]になります。カードの利用で貯まったポイントはキャッシュバックや商品交換に利用できます。

※三菱東京UFJ・VISAゴールドプレミア
※三菱東京UFJ・VISAゴールドは年会費1万5千円。

※非引店・能楽スパー普通預金の場合に限りです。

(注)スーパーCカードは旧東京三業店に口座をお持ちの方が利用可能。

現金での振込には 本人確認書類を

平成十九年9月からは、十万円を超える現金振込の際に、本人確認のための書類が必要になりました。マネー・ローンダリングやテロ資金供与を防止するための法改正に伴うものです。

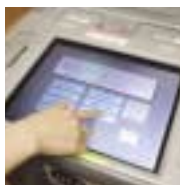
ただし、預金口座を通じての振込やATMを利用したキャッシュカードでの振込は、これまでどおりです。十万円を超える場合でも、本人確認書類の提示は必要ありませんが、口座開設の際には本人確認手続きが済んでいない場合には、本人確認書類の提示が必要となり、ATMでは振込できないことがあります。



磁気ストライプを使ったキャッシュカードのご利用はこちらから

クレジットカードを使ったキャッシュカードのご利用はこちらから

暗証番号は こう変える！



ATMの表示画面に指で触れたいきます。まずは「暗証番号変更」という表示部に触ってください。

「暗証番号変更」に触れる

キャッシュカードを挿入

現在の暗証番号を入力

新しく設定したい暗証番号を入力

もう一度、新しく設定したい暗証番号を入力

変更終了

(※ATMの画面は必ずご確認ください)

なお、変更する場合は、生年月日や電話番号等の精確しやすい番号を暗証番号に指定することとなります。ご注意ください。

あらかじめ変更方法を知っていると、ATMの前でまよふことありませんね。

専門家に聞く 資産運用のヒント

「ゆとりあるセカンドライフを過ごしたい」「相続の準備を詰めたい」……
そのような時は、身近な銀行や信託銀行へ。専門家が相談にのってくれます。

プロを味方につける 資産運用

「どんな商品があるかを相談にいちじやる方もあれば、漠然と資産運用について尋ねるお客さまも。株の値動きのこと、金利が上がったこと、資産運用のことを耳にされ、自分も何かしなければ、と気になさっている方が多いようです。そのような方は、どうして運用が必要なのか、どういうメリットとデメリットがあるかを「説明します」と話すのは、三菱東京UFJ銀行日本橋支店の中川さん。「運用商品には興味はあるが、不安もあるという方には、まずは余裕資金に応じて始めることを提案しています。豊かなセカンドライフを過ごすために、お客さまの金融資産を使い道によ

て色分けしていきます」とのこと。話を聞いてみると、運用に対する意識が変わりそうです。

三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行には、円預金や外貨預金、投資信託、個人年金保険などいろいろな運用商品が揃っています。「ご家族と相談されたり、時間を置くことで最適な運用商品が見えてきますので、再度のご来店をお勧めしています」。これなら納得して商品を選べます。

投資信託などの運用商品を購入した後は、運用状況について定期的にレポートが届きます。インターネットでも運用状況をチェックできます。これらをもとに引き続き相談していけば、追加の購入についても安心です。

いつも利用している銀行、信託銀行で気軽に相談し、



安定的に資産を運用したいもの
です。

**一人で悩まず、
プロを味方につけること**

築いた資産は自らの意思で
引き継ぎたいもの。しかし生
前贈与という場合を除いては、
自分がその場に立ち会えるわ
けではありません。

一般的に相続の手続きには、
法定相続人たちが話し合う
必要があります。誰がどの財
産を引き継ぐかを決めるので
す。スムーズに話が進む場合
もあれば、そうでない場合も。

三菱UFJ信託銀行には
遺言信託「遺心伝心」や、遺産
整理業務「わがち愛」など、遺産
相続を円滑に進めるためのサ
ービスが揃っています。

同社本店の加納さんは、「ま
ずは、お客さまの悩みに耳を
傾けます。商品パンフレットも
用意していますが、二方的に説
明するのではなく、悩みを解
決するにはどうしたらいいか
を一緒に考えます」とのこと。

真剣に話を聞いてくれる専
門家が、心の負担を軽くして
くれます。

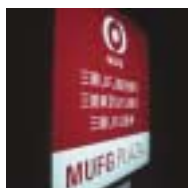
**相談は無料
まずは悩みを話すことから**

資産運用や相続のごで悩
んでいるなら、まずは相談を。
相談料は無料です。

それに、予約なしで気軽に
行けます。初めて相談した担
当者がその後も対応してくれ
るので、何度も同じ話をする
必要がありません。事情を理
解した担当者がいるというだ
けで、心強さが違います。

「ワンストップサービス」の MUFGBラザ

MUFGBラザは、金融商品や
サービスをワンストップで提供す
る融合型共同店舗です。三菱UF
Jフィナンシャルグループの銀行
信託・証券などのサービスも、個
人の利用者向けにひとりの空間に
集約しています。現在、全国に六
十五店舗を展開中。今後、拡大さ
れる見込みです。



頼れる金融機関は スピードデー

ビジネスチャンスはいつ訪れるかわかりません。

機会を逃さず、確実にモノにするには頼れるパートナーが必要です。

スピードデーに対応するため
商品と窓口を拡充

企業経営を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。環境変化に対応するため、経営には迅速性が要求される時代となりました。三菱東京UFJ銀行は、こうした企業のニーズに応えるため、ビジネスローン「融活力」を用意しています。申し込みから実行までスピードイイなローンで、最大五千万円まで原則無担保無保証で、かつ借入期間も最長五年間と使い勝手にも優れています。

利用者からは、「ビジネスチャンスが拡大した」との声がかねかまします。

東京で四十年近く金属加工業を営むA社もビジネスローン「融活力」を利用して一社

です。融資だけではなく、事業承継にかかわるアドバイスや、ニーズに合ったさまざまな金融商品を提案するなど、事業全般において三菱東京UFJ銀行は頼もしい存在となっています。

九州で果樹園、養鶏・加工・販売、レストランなど多角化経営を展開するB社。同社は日本農業法人協会向けのビジネスローン「融活力」を活用し、数千万円の資金を調達しました。アフターケアも充実。販売先の紹介など三菱東京UFJ銀行が同社の販路拡大にも貢献しています。

ビジネスローン「融活力」を利用するためには、借入申込書に必要事項を記入して、所定の書類とともに、指定のビジネスローン受付窓口で申し込み(インターネットでも仮申

成長5年

「融活力」

「融活力」

「融活力」



し込み可能)。銀行から審査結果の通知が到着したら、正式に契約を結びます。

また、企業経営に伴うさまざまなニーズにお応えするため、保険会社と提携し、企業の危機管理体制や人事・労務管理に関する総合的な診断などを無料で受けられるサービスも用意しています。

このようなサービスを広く利用していただくため、三菱東京UFJ銀行では、これまで店舗がなかった地域に法人営業所を設置するなど、ビジネスロンの受付窓口を拡大しています。法人営業所は平成十八年十二月時点で全国二十六拠点ですが、今後もさらに拡大していく予定です。

業務を効率化できる インターネットバンキング

企業では、取引先からの入金確認や給与振込など、銀行取引はほぼ毎日発生します。こうした日常の銀行取引をオフィスのパソコンから利用できるのが、法人向けインターネットバンキングです。

インターネット経由で使う、三菱東京UFJ銀行の「Biz

STATION」「U・LINE Web」では専用ソフトは不要。通帳記載しなげれば分からなかった取引先からの入金状況も、各営業担当者のパソコンから確認ができるようになります。また、複数台のパソコンでデータを共有し、営業所で作成したデータを本社で承認することで、業務を本社に集中させる効率化を図るなど、社内の事務効率化に役立つ点が評価されています。

「BizSTATION」「U・LINE Web」とも、最大三カ月は無料で使用できます。そのため、試しに契約した利用者が、引き続き利用することも。

窓口へ行かなくても振込ができることに加え、「振込手数料」が窓口での振込と比べて割安(百五十〜五百円)です。コスト面でもメリットがあります。

電子証明書や最高水準の暗号化技術を採用し、セキュリティ面も安心。郵送で申し込みができ、手続きも簡単な多くの企業に導入されています。

※「U・LINE Webプロ」「U・LINE Webプロ」コースについては対象外です。



融資額 5,000万円以内

中小企業
ビジネスローン

返済期間 最長36回

違いが見える 海外ビジネス

海外四十カ国以上に四百二十五拠点を擁するMUFU。そのネットワークは、海外でも強い味方です。

アジア・オセアニア地域では、

アジア・オセアニア地域には、グループ合算で支店・出張所・駐在員事務所・主な現地法人が計五十拠点あります。日系企業が多数進出している中国では、三



ユニオンバンク・コーポレーション

ユニオンバンク・コーポレーション(UnionBankCal Corporation、略称UBC)は三菱東京UFJ銀行の連結子会社であり、傘下にカリフォルニア州第四位の銀行であるユニオン・バンク・オブ・カリフォルニア(Union Bank of California、略称UBOC)を有する米国銀行株式会社です。UBOCは、米国内外に三百二十店舗を擁し、住宅ローンをはじめとする個人向け取引から日系企業を含む法人取引まで、さまざまな金融サービスを提供しています。

米州地域では、

北米・中南米には、グループ合算で支店・出張所・駐在員事務所・主な現地法人が計二十六拠点あります。これに加えて、ユニオンバンク・オブ・カリフォルニアがカリフォルニア州を中心に、三百二十二の店舗を展開しています。

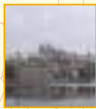
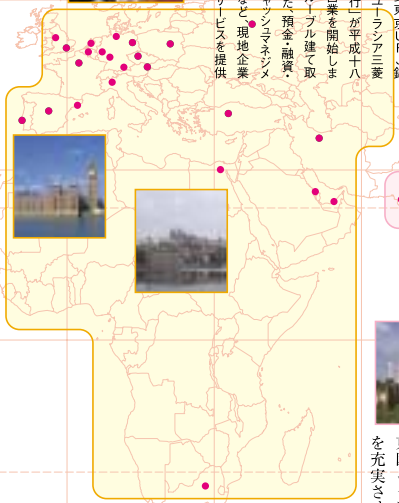


三菱東京UFJ銀行が中国で邦銀最多の六支店めとなる無錫支店を平成十八年十二月に開設しました。



ユーラシア三菱東京UFJ銀行が営業を開始

ロシア連邦の首都モスクワにおいて、三菱東京UFJ銀行の子会社「ユーラシア三菱東京UFJ銀行」が平成十八年十月から営業を開始しました。ロシア・ブル種取引を中心とした預金・融資、為替取引やキャッシュマネージメントサービスなど、現地企業の方に幅広いサービスを提供していきます。



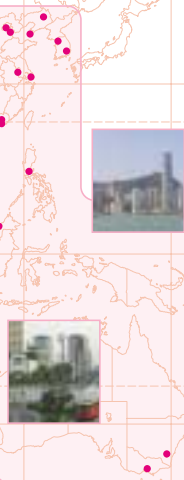
ユーロ・ロシア・中近東・アフリカ地域には、グループ合算で支店出張所・駐在員事務所・主な現地法人が計二十七拠点あります。MUFJは、経済成長著しい中東欧・ロシアにおいてもネットワークを充実させており、平成十八年四月には三菱東京UFJ銀行のオランダ現地法人がラハに支店を開業、十一月にはモスクワに同行のロシア現地法人が開業しました。



欧・露・中近東・アフリカ地域では…

ユーロ・ロシア・中近東・アフリカ地域には、グループ合算で支店出張所・駐在員事務所・主な現地法人が計二十七拠点あります。MUFJは、経済成長著しい中東欧・ロシアにおいてもネットワークを充実させており、平成十八年四月には三菱東京UFJ銀行のオランダ現地法人がラハに支店を開業、十一月にはモスクワに同行のロシア現地法人が開業しました。

ユーロ・ロシア・中近東・アフリカ地域には、グループ合算で支店出張所・駐在員事務所・主な現地法人が計二十七拠点あります。MUFJは、経済成長著しい中東欧・ロシアにおいてもネットワークを充実させており、平成十八年四月には三菱東京UFJ銀行のオランダ現地法人がラハに支店を開業、十一月にはモスクワに同行のロシア現地法人が開業しました。



身近な海外

海外の銀行に口座を持つ

三菱東京UFJ銀行の「海外口座」紹介サービスは、日本にいながら海外の銀行に口座を持つことができるサービスです。アロハルな分散投資を考慮している。海外への出張や旅行が多いという方に便利です。

現在、「カリフォルニアバンク」(米国)と「パリアクラント」(フランス)が用意されています。

外貨両替でも頼れる

ワールドカレンシヨンショップは、MUFJの外貨両替専門店。国内にいながら、さまざまな外貨に両替できます。駅ビルやデパートなどの便利な場所があり、午後三時以降や土日にも利用できます。営業時間・定休日店舗によって異なります。



巧妙かつ多様化する金融犯罪。
まずその手口を知ることが大切です。

金融犯罪に遭わないために

「私は大丈夫」という油断は禁物です。
犯人はあなたのその隙を狙っています。

貴重品から離れる

飲食店などで貴重品を置いたまま席を離れる場合、また、貴重品を入れた上着を壁にかけると盗難に遭う危険性があります。貴重品を手元から離さないようにしましょう。



ロッカーでは、のぞき見される危険性があります。キャッシュドカードの暗証番号とは違う番号を使いましょう。



車から離れる

買い物などで車から離れる場合、短時間でも車上荒らしに遭う危険性があります。車内に貴重品を放置しないようにしましょう。



ホームや電車内での居眠り

ホームや電車内で居眠りしている間に上着やかばんからカードの盗難に遭う危険性がありますので、注意しましょう。



安心してキャッシュカードをご利用いただくために

金融サービスを安心して利用したい。こうした声にお応えして、MUGではさまざまな取り組みを進めています。その一部を紹介します。

例えば、キャッシュカードのATMでの一日当たりのご利用限度額の設定が可能です。万が一、不正に引き出されるようなことがあっても、あらかじめ登録した限度額の範囲にとどめることができます。

また、三菱東京UFJ銀行のICカードは、ICチップの使用により、偽造されにくい構造となつています。さらにこのICカードに「手のひら静脈認証」を利用すると、万が一、カードが盗難されても第三者による使用は極めて困難になります。

暗証番号には
特に注意が必要

大至急返信!!



フィッシング詐欺・ スパイウェア

インターネットバンキングの契約者番号やパスワードを盗み出し、不正に利用する犯罪が発生しています。契約者番号やパスワードは厳重に管理しましょう。身に覚えの無い電子メールには注意し、返信やリンク・添付ファイルのクリックは行わないようにしましょう。最新のOS、最新のセキュリティソフトを使用し、常にアップデートや更新を行いましょ。

巧妙な手口でお金を 振り込ませようとする 「振り込め詐欺」

「家族が交通事故のトラブルに遭ったので、お金を至急振り込み」などと電話してくる詐欺が多発しています。お金をすぐに振り込まず、いったん電話を切って本人に連絡し、事実かどうかを確認しましょう。



うまい投資話や あやしげな セールス活動

例えばMUFGとの関係を利用ポイントとする投資などの勧誘行為のなかには、説明と実態が違う場合があります。少しでも不審な点や疑問点があれば、投資などをすぐに行わず、内容を十分に確認しましょう。

MUFGと類似した 名称を名のる 業者からの勧誘



ダイレクトメールやチラシで、MUFGの名称やマークをまねて、まるで関連会社であるかのように融資の勧誘などを行う事例が増えています。注意しましょう。



不審なカード 読み取り機やカメラ

暗証番号やカードの情報盗むためにカード読み取り機やカメラが使用されることがあります。不審な機械には注意しましょう。万が一、ATMコーナーやカード挿入口に不審なカード読み取り機やカメラを見かけたら、係員に知らせましょう。

もしものときは…

三菱東京UFJ銀行
キャッシュカードの盗難・紛失等に伴う取引停止の申し込み、
ダイレクトバンキングの照会は

0120-860-777

24時間365日

(サービスによって一部ご利用いただけない時間帯がございます)

三菱UFJ信託銀行

キャッシュカード、通帳、証券、印鑑などを紛失した場合

0120-222-700

24時間365日

キャッシュカードの暗証番号を、生年月日や住所の番地、電話番号、自動車のナンバーにしませんか？
これらの暗証番号は、免許証などから第三者に推測される可能性があるため危険です。思い出しの数字や趣味・興味の、あることに関連した数字など、自分だけの特別な番号にしましょう。
暗証番号の変更は三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行とも、それぞれのATMで稼働時間であれば、キャッシュカードだけで無料です。
なお、銀行員や警察官、銀行協会職員等が電話で暗証番号をお尋ねすることはありません。問い合わせがあっても決して回答しないようにしましょう。



お客さまの笑顔のために

MUFJでは、利用者の声に耳を傾け、その声に確実に応えていこうと取り組んでいます。



すべては

「お客さま満足」のために

お客さまのニーズや意見、要望をよく聞いて、すべてサービスに反映させる…ビジネスの基本ですが、なかなか難しいことです。MUFJでは、統合当初よりサービス向上に取り組み、徐々に成果が表れています。三菱東京UFJ銀行の店舗に入ると、まず案内係が「受付カード発行機」へと案内してくれます。「受付カード発行機」には、予想待ち時間が表示されるようになっています。振込や預け入れに使う帳票類は、より記入しやすいようにと改訂されました。通帳利用時の読み取りエラーを減らすために、磁気テープに

も改良が加えられています。

利用者にとって使いやすい店舗への改善は、日々続けられています。

**寄せられた声が
重要なヒント**

利用者の意見などは、さまざまな方法で寄せられます。

例えば三菱東京UFJ銀行では、「お客さまの声ハガキ」が店頭で常備されています。横に置かれている回収ボックスを経由して、あるいは郵送によ





て、毎月平均約一万枚の声ハガキが寄せられます。

加えて、MUFJのグループ各社が実施している「お客さま満足度調査」。平成十七年度の三菱東京UFJ銀行の調査では、個人の利用者二万四千人、法人の利用者二万二千社の意見が寄せられました。

ヒントを活かすしくみ

グループ各社は、寄せられた声を集約・分析し、商品・サービスの改善に役立てています。

また、経営トップが主催する「CS（お客さま満足度）経

誰もが使いやすい金融機関へ

金融機関では既存の店舗を使いやすくしようと、バリアフリー化の工夫が始まっています。MUFJでもこれから建築する新しい店舗には、階段が必要な際は、併せてエレベーターも設置するようになっています。

三菱UFJ信託銀行では、認知症への正しい知識や接し方を理解し、認知症の方やその家族が安心して地域で暮らせるように「認知症サポーター養成講座」の受講を全店で展開しています。オンラインングは認知症サポーターの証です。

営業向上会議などを定期的に開催しています。ここでは、利用者の声を業務に適切に反映すべく議論が進められたります。利用者から寄せられた声や会議の様子は、イントラネットなどを通じて、全従業員で共有されています。

三菱UFJ信託銀行では、「True Teller（顧客の声ポータル）」を導入し、営業拠点に寄せられた利用者の声を迅速に集約・分析し、CS向上の取り組みに反映させています。



車体の不自由な方にも配慮した駐車場



段差がなく、赤字ブロックのある入り口



オンラインング



車イスでも対応可能なローガンター



社会の一員として

国内外のさまざまな地域で営業しているMUFJ。それぞれの地域・国で、社会の一員として行動しています。



従業員が参加する 地域貢献

各営業拠点が地域貢献活動に自主的に取り組んでいるほか、会社としてもこうした活動を支援しています。

地域の清掃活動や花壇の整備、チャリティーなどの活動を奨励。また、従業員のボランティア活動もサポートしています。そのほか、書き損じハガキの回収運動や施設で生活する子供たちにお弁当袋や上履き入れなどを手作りして寄贈する「裁縫ボランティア」をグループ全体で進めています。

金融教育の分野にも力を入れています。金融について学びたいという地域の小学校などに協力し、各営業拠点での

見学の受け入れや教材などを提供。小中学生を対象とした金融プログラム「キッズマーケットキャンプ」では、役員による講義や、本店・ティールンゲルームの見学、練習用のお札を使ったお金の数え方の実演もしています。

地域社会・ 国際社会への寄付

地球規模の課題や日本全体の課題の解決に向けて活動する諸機関を、MUFJは支援しています。地震などの災害発生時には、会社と従業員から寄付を行うほか、義援金受入専用口座の開設などに協力しています。

三菱UFJ信託銀行の一麥



の実愛の基金」は、同行の役員、従業員、退職者、家族から会費を募り、全国の社会福祉団体に寄付を行う基金です。設立以来、六百三十四団体に、対し総額三億千八十万円の寄付を実施しました（平成十八年三月現在）。

本業を通じた貢献

「資金の流れへの関与を通じて、よりよい社会の実現に向けて環境や社会へ幅広く働きかける」ことは金融の特徴です。MUFGではこの特徴を活かしたさまざまな取り組みを行っています。

三菱東京UFJ銀行では、環境融資の専門組織である環境融資室を設置。専門知識を活かして、事業形態に合わせた融資形態の構築やシンジケートローンのアレンジなど、ファイナンス面での各種相談に応じています。

例えば、風力発電事業に対するローンの組成、市民が出資、運営する「市民風車」への融資、食品廃棄物を利用した発電施設や食品廃棄物リサイクル

プロジェクトへの融資などを行っています。

「責任投資セミナー2006」を開催

企業が社会への責任をどのように果たしているかに着目する投資スタイルを、SRI（社会的責任投資）といいます。環境や地域社会、社会問題、コーポレート・ガバナンスなどに対する姿勢が判断基準となります。環境問題や企業の不祥事を背景として、SRIへの関心は、国際的に高まっています。

三菱UFJ信託銀行は、平成十八年五月に、国連が世界の機関投資家向けに策定した「責任投資原則」に、国内最大の受託運用機関として署名しました。同行では、この精神に則り、個人向けの、企業年金の利用者向けの商品を提供しています。また、日本でのSRIの普及を図るため、国連環境計画・金融イニシアティブ（UNEP・FI）と共催して、平成十八年十一月に「責任投資セミナー2006」を開催しました。



日々の暮らしにMUFG

毎月の積み立て、住宅ローンの借入れ、資産の運用…。
生活のいろいろな場面でお金が登場します。
だから豊富な商品があり、相談しやすい金融機関を選びたい。

多様化する 資産運用ニーズに応える

幅広い資産運用ニーズに応えるため、MUFGでは、さまざまな金融商品を取り揃えています。

例えば、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行で取り扱っている三菱UFJ SRIファンド（愛称：ファミリー・フレンドリー）（運用会社：三菱UFJ投信）は、「仕事と生活が両立でき、多様で柔軟な働き方を選択できる」という観点からの評価も導入したファンドです。

同じく両行が扱う「MUFG・ワイデリティ・退職金活用ファンド」（委託会社：ワイデリティ投信）は、セカンドライフのために、長期で安定的な運用をめざしたファンドです。

他にも、環境負荷が少ない企業に投資しているファンドを用意するなど、財務的な観点からだけでなく、社会、倫理、環境などの側面からも企業を評価して投資したいという利用者のニーズに応えています。

「将来の年金を着実に準備したい」という方には、投資型年金保険を用意しています。

これは、運用、年金、保険がひとつになった商品です。方が一の場合に備えながら、将来の年金を準備することができま

す。例えば、三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行が取り扱っている「ステイロッド」（引受保険会社：T&Dファイナシヤル生命保険）では、最長七年間の運用期間で一時払保険料金額が年金原資として最低保証されます。

また、「ステップライフ」（引受保険会社：マニライフ生命保険）は、最短で契約日の一年経過後から年金受取が開始でき、運用状況によっては年金支払額が毎年ステップアップする商品です。

それぞれの将来設計に合わせた選択ができるようになっています。





銀行で株式や外国債券が購入できる

株式をはじめとする証券投資が個人の間にも広がってきた。なか、「証券仲介制度」の活用により、銀行の窓口を通じても株式や外国債券を購入できるようなりました。この制度では、銀行が証券会社で取り扱っている金融商品の注文を預かり、証券会社に仲介します。

三菱東京UFJ銀行は、三菱UFJ証券、カブドットコム証券、三菱UFJメリルリンチPB証券を、三菱UFJ信託銀行は、三菱UFJ証券を、それぞれ委託証券会社としています。MUFJは、この制度をさらに展開していきます。

※カブドットコム証券、三菱UFJメリルリンチPB証券のお取引は、お客さまから委託証券会社との直接取引となります。



便利で安心 相談しやすい環境づくり

資産運用について、専門家にじっくり相談してみたいという方が増えてきています。

MUFJでは、資産運用相談会を土日・祝日や平日夜に開催したり、事前に来店時間を予約できるサービスを行っています。社内外から金融の専門家を講師に招いた資産運用セミナーも開催しています。

安心して取り引きできるように、内部管理態勢の強化にも取り組んでいます。

例えば、三菱東京UFJ銀行では、営業店の内部管理業務をサポートする専門の担当者二四名を全国に配置。適切な商品の紹介や販売が行われるように営業店の支援、指導、チェックを行っています。





ライフスタイルに合わせた住宅ローン

住宅ローンには、金利や期間返済方法によって、さらには優遇サービス付のタイプまでさまざまな商品があります。自分のライフスタイルに合わせて選びたいもの。

MUFGでは最近のライフスタイルの多様化に合わせた住宅ローンを多数取り揃えています。

三菱東京UFJ銀行では、住宅ローンの利用者を対象に、ホームセキユリティサービスの新規契約時に優遇特典を受けられるサービスや、住宅ローンの借入手続きをインターネットと郵送で完了できるサービス（来店不要型）を取り扱っています。

また、三菱UFJ信託銀行では、地方自治体と連携し、太陽光発電装置設置住宅に対する住宅ローンの金利優遇制度を用意しています。



相続手続きや不動産購入などをサポート

財産を次の世代に大切に引き継ぎたい。こうしたニーズには、信託銀行のサービスが便利です。

例えば、三菱UFJ信託銀行の遺言信託「遺心伝心」の遺言書の作成や保管、遺言の執行を行います。遺産整理業務「わがち愛」は、相続の手続きに不慣れな方や時間に余裕がない方に代わって、相続に関する手続きを行うものです。生前贈与信託「パーソナルトラスト」は、「特約」の設定により委託者の意思で信託目的・期間や支払方法が選べる商品です。

さらに、金融資産や不動産をトータルに把握・分析し、相続などに役立てたいというニーズには「資産承継プランニング」、企業のオーナー向けに事業承継のコンサルティングも行う「オーナーシップ」も用意しています。

三菱UFJ信託銀行は、こうしたサービスを信託代理店制度を活用して、三菱東京UFJ銀行や三菱UFJ証券などのグループの利用者のほか、

地方銀行や野村證券の利用者にも提供しています。

また、不動産に関する相談にも積極的に対応しています。不動産については、ご自宅の購入・売却・買い替えから投資・事業用物件の査定、保有不動産の有効活用など、さまざまなニーズがあります。三菱UFJ信託銀行では、こうした不動産ニーズに対し、講演会・相談会などを営業店で開催するなど、積極的に応えています。

自宅の購入・売却に関しては、グループ会社の三菱UFJ不動産販売とともに、インターネット上の情報検索を含めた豊富な物件情報の提供から契約締結・物件受け渡しまで、経験豊かなスタッフがトータルにサポートしています。





便利に使えるクレジットカードをめぐらして

UFJニコス、デイジーカードでは、非接触IC 携帯クレジットカードの拡大に向けて、UFJニコスが開発した「スマートプラス」の普及に努めています。

そこで、VISAインターナショナルと提携し、「スマートプラス」の技術ノウハウを提供して開発された「VisaTouch」のサービスを展開しています。

平成十九年四月には、UFJニコスとデイジーカードが合併し、「三菱UFJニコス」が誕生する予定です。新会社は、「DC」「UFJカード」「NICOS」という三つのブランドの強みを最大限に活用していくと同時に、「スマートプラス」をはじめとする利便性の高い最先端技術を開発・提供していきます。



進むネットワークの充実

多様化する暮らし方に対応して、MUFGは、「いつでも、どこでも」利用できるネットワークを構築しています。

首都圏・中部圏・近畿圏を中心に店舗をバランス良く展開しているほか、窓口の営業時間を延長し、個人の日常的な取引に対応した店舗や、専用のスペースで資産運用の相談ができる会員制の「プライベート・バンキング・オフィス」などを、さまざまなタイプの店舗を設置しています。

また、銀行・信託・証券などのサービスを一体的・機動的に提供する融合型共同店舗「MUFGプラザ」を全国に展開しています。

ATMネットワークの充実にも取り組んでいます。MUFGのATMのほか、コンビニエンスストア内、郵便貯金のATMも利用できます。

さらに、三菱東京UFJ銀行では、中部・関西地区の地方銀行と提携し、両行の利用者が相互のATMで現金を引き出す際に、他行利用手数料を無料としています（平成十八

年十二月末現在八行）。

このほか、JR東日本のATM「VIEW ALTE」や、阪急電鉄の駅にある「Pass a T ATM」も利用できます。これに加えて、ATMコーナーにあるテレビ電話からも各種手続きを行うことができます。

三菱東京UFJ銀行のテレビバンク（旧東京三菱店）／テレビ窓口（旧UFJ店）は、窓口が閉まった後（平日夜八時まで）や休日でも、オペレーターと対話をしながら口座開設や住所変更などの手続きができるサービスです（「テレビバンク」と「テレビ窓口」は、設置店およびサービス内容が異なります）。



※三菱東京UFJ銀行は「eATM」窓口／ATM、セブ銀行は「eATM」三菱UFJ信託銀行は「eATM」と提携しています。



ビジネスシーンもMUFG

多様化かつ高度化する、企業の金融ニーズ。
邦銀ナンバーワンの内外ネットワークにグループ会社の機能を加え、
MUFGは、質の高いサービスで応えています。

中小企業向けサービス 充実した商品ラインアップで 素早く対応

MUFGでは企業の資金ニーズに迅速かつ的確に応えるため、さまざまな借入商品を取り揃えています。三菱東京UFJ銀行では、無担保・無保証のビジネスローン「融活力」や各地信用保証協会との提携商品を用意しています。

「融活力」エコアクションは、「ISO14001」もしくは「エコアクション21」の認証や登録を取得しているなど、環境に配慮している企業に対して、審査結果に応じた所定の金利より0.5%優遇するものです。

これに加えて、大手税理士団体「TKC全国会」と業務提携し、中小企業の経営革新を支援する「TKC戦略経営者ローン」を関与先企業に提供しています。



全国規模で 接点(チャネル)を強化

三菱東京UFJ銀行では、企業向けの営業拠点を充実させています。

平成十八年十二月末現在、全国二百七十二の支社のほか、都心の企業密集地域二十六カ所に「法人営業推進部」を設置しています。法人営業拠点のない地域二十カ所には「法人営業オフィス」を設置しています。

地方都市で店舗のない地域には「法人営業所」を設置。旭川から那覇に至る二十六拠点(平成十八年十二月末現在)で、企業のニーズに対応する体制を整えています。

そのほか、TKC全国会や生損保・地銀との提携を強化しています。銀行代理店制度なども活用して、多くの企業に三菱東京UFJ銀行の商品を提供しています。





中堅企業向けサービス

経営課題の解決に向けた
お手伝い

年金制度改革や各種制度対応など、企業を取り巻く環境は近年大きく変化しています。

MUFGは、中堅企業の経営者の方々から、制度変更に伴う課題や事業拡大に伴うニーズを積極的にヒアリングし、その解決に向けたお手伝いを行っています。

例えば、退職金や企業年金制度改革に関しては最新情報を。事業承継、株式公開M&Aに関しては提案を。IT戦略や人事制度に関してはコンサルティングを。このように、総合金融グループとしての強みを最大限に発揮して、企業のニーズに応えています。



ビジネスをマッチング
(お取引先をご紹介)

仕入先や販売先の拡大などのニーズには、ビジネスマッチングを提供しています。

ビジネスマッチングとは、企業のニーズを聞き、経営課題を解決できるビジネスパートナーを、MUFGの幅広い取引先企業のなかから紹介するサービスです。

平成十八年十月には、大規模商談会「第三回ビジネスリンク商賈繁盛a.t.東京ビッグサイト」を開催しました。当日は約四千八百件の商談が行われ、新たなビジネスチャンス

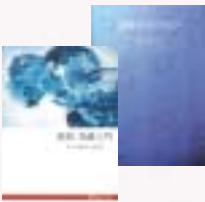
の創出に貢献できました。
このサービスは企業の経営課題を解決する有効な手段のひとつとして活用されています。



企業の
海外業務展開をサポート

豊富な経験を有するスタッフが、世界四十カ国以上、四百を超える海外ネットワークを活用し、企業の海外進出・事業拡大をサポートしています。特に、企業の進出ニーズの高い東南アジアおよび中国については、国内の法人営業拠点に「ASEANデスク」「CHINAデスク」を設置し、情報提供や進出相談などを行っています。また、上海・バンコク・ハノイに、新規お取引先専門の部署を設けています。

さらに、各国・地域専門スタッフによる海外投資セミナーの開催や「投資ガイドブック」の出版など、MUFGならではのサービスを提供しています。





大企業向けサービス

総合力で勝負

大企業のニーズは、買収ファイナンス（LBO／MBO）やM&A株式公開（IPO）支援、保有資産の証券化、各種デリバティブ商品の活用、シンジケートローンなど、多岐にわたります。

MUFGでは、こうしたさまざまなニーズに、取引先の業界に精通した営業担当者を中心に、銀行・信託・証券が連携し、グループ総合力で対応しています。

例えば、シンジケートローンの分野では、三菱東京UFJ銀行は、三菱化学株式会社向けに、融資実行後に金融機関の間で貸出債権の売買を行うことを前提とした新型のローンを組成しました。



通常は融資実行時に貸出金融機関の顔ぶれが決まってしまうのに対し、この新型ローンでは、債権売買により、新たな貸し手が創出されるしくみになっています。企業の資金調達手段の多様化に貢献するだけでなく、貸出債権の流通市場の拡大にもつながる取り組みです。MUFGでは、こうした取り組みを、今後も積極的に推進していきます。

また、証券化の分野では、平成十八年九月に、ヤマハ発動機株式会社との豪州現地法人と

の間で、SPT（特別目的信託）の利用した債権証券化案件を手がけました。債権証券化は、企業の資金調達におけるコスト削減や手段多様化につながる商品です。この件は、アジア・オセアニア地域で邦銀初の案件となりました。

MUFGでは、今後も、グローバルに広がる企業の「商流」に着目して取引先のニーズに幅広く応えることで、この分野での評価を二層向上させていきます。





高まる信託関連の ニーズに迅速に対応

信託機能を活用した金融サービスは広がりを見せています。

不動産の分野では、グループ内の不動産情報を三菱UFJ信託銀行に集約し、不動産に関するニーズに対して最適な提案を行える体制を整備しています。

受託財産業務では、高齢化社会の進展に対し充実した企業年金制度を導入するためのサポートをしているほか、資産の運用・管理において多様な金融商品を提供しています。

証券代行業務では、株式実務コンサルティング、敵対的買収に備えたサービスなどを行っているほか、株主向け広報（SR）関連サービスの充実も図ります。



ています。

そのほか、企業が保有する資産の信用力に基づいて信託受益権を発行し、資金調達をサポートするなど、信託機能を活かしたさまざまな提案を用意しています。

平成十七年からは、企業の経営層向けに「企業価値向上のための戦略セミナー」を順次開催。企業価値を株価に適切に反映させるための株主・投資家向け広報（IR）や敵対的買収対策、株主利益還元などを目的とした自社株取得時に、証券取引法などの諸規制に抵触するリスクを低減する商品である「金庫株信託」など、関心の高いテーマを取り上げています。

MUFGでは、今後も、信託機能を活用したサービスの提供により、企業の経営課題解決をサポートしていきます。



海外でもきめ細かい サービスを提供

グローバルに活躍する企業にとつて、海外においても、国内同様の金融サービスは不可欠です。

MUFGでは、邦銀No.1の海外ネットワークを駆使し、企業さまさまざまなニーズに対応しています。

通常の融資に加え、シンジケートローンやプロジェクトファイナンスなどを通じて資金調達ニーズに応えているほか、資金決済サービスの提供、M&A案件へのアドバイスをなどを行っています。

平成十八年上期には、資産規模で中国第二位の中国銀行と提携し、中国に進出する日系企業をサポートする体制を一層強化しました。



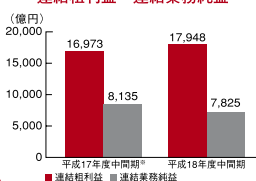
平成18年度中間期決算について

決算のポイント

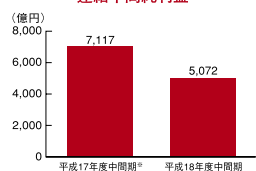
- 🚩 連結中間純利益は与信関係費用の戻入益もあり、期初予想を上回る5,072億円
- 🚩 貸出資産の質は一層改善し、不良債権比率は1.43%に低下
- 🚩 連結自己資本比率は11.95%と引き続き十分な水準を確保

(単位: 億円)

連結粗利益・連結業務純益



連結中間純利益



*平成17年度中間期は三菱東京フィナンシャル・グループとUFJホールディングスの単純合算です。

〈損益について〉

連結粗利益は、投信関連収益の増加や子会社の増加等から、前年同期比975億円増加の1兆7,948億円となりました。一方、子会社の増加等により経費も増加したため、連結業務純益は前年同期比309億円減少し7,825億円となりました。連結中間純利益は「貸倒引当金戻入益」が前年同期比2,118億円減少したことなどから、前年同期比2,044億円減少し5,072億円となりました。

損益の状況 (連結)	平成17年度中間期*	平成18年度中間期
連結粗利益 (信託勘定償却前)	16,973	17,948
うち資金利益	8,579	9,456
うち役務取引等利益	4,840	5,574
営業費	8,837	10,122
連結業務純益 (一般貸倒引当金繰入前・信託勘定償却前)	8,135	7,825
臨時損益 (△は費用)	△762	△1,189
うち与信関係費用	△734	△542
うち株式等関係損益	307	137
経常利益	7,363	6,635
特別損益	3,244	1,707
うち貸倒引当金戻入益	3,488	1,369
法人税等十法人税等調整額	3,217	2,930
少数株主利益	272	340
連結中間純利益	7,117	5,072
与信関係費用総額 (信託勘定償却十与信関係費用十貸倒引当金戻入)	2,745	826

用語解説

① 営業費とは…

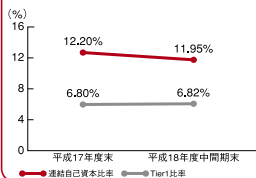
一般企業決算における「営業費用」に該当するもので、内訳としては、人件費と物件費（システム関連の減価償却費、支店などの賃借料など）が中心です。

② 貸倒引当金とは…

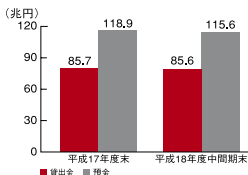
将来の貸倒れ損失発生に備えて、予め損失発生額を見積もり、積み立てておく引当金のことです。お取引先の業況改善などで当初見積りどおりの引当金が必要なくなった場合は、会計上この引当金の「戻し入れ」が発生し、これが利益として計上されます。

(単位：億円)

連結自己資本比率(国際統一基準)



貸出金・預金



資産・負債の状況(連結)	平成17年度末	平成18年度中間期末
資産の部	1,870,467	1,847,353
うち貸出金	857,631	856,711
うち有価証券	485,089	477,664
負債の部	1,772,204	1,750,762
うち預金	1,189,880	1,156,029
純資産の部(平成17年度末は資本の部)	77,278	96,590

連結自己資本比率の状況	平成17年度末	平成18年度中間期末
連結自己資本比率(国際統一基準)	12.20%	11.95%
Tier1比率	6.80%	6.82%

不良債権の状況 [※]	平成17年度末	平成18年度中間期末
不良債権(金融再生法開示債権)	18,259	12,778
不良債権比率	2.07%	1.43%

※三菱東京UFJ銀行、三菱UFJ信託銀行、信託勘定の合算です。

〈資産・負債について〉

貸出金は、国内店貸出が減少した一方、海外店貸出が増加した結果、前年度末比ほぼ横ばいの85.6兆円となりました。預金は、法人預金を中心に前年度末比3.3兆円減少し115.6兆円となりました。

〈連結自己資本比率について〉

公的資金返済に際し、自己株式2,870億円の取得を実施しましたが、利益による資本の増加もあり、連結自己資本比率は11.95%と引き続き十分な水準を確保しています。

〈部門別の業績について〉

MUFGグループでは、個人向け業務を扱う「リテール」、法人向け業務を扱う「法人」、投信や年金業務などを取り扱う「受託財産」の顧客3部門を中心に収益力の強化に取り組んでいます。

平成18年度中間期は、市場関連業務の収益減少等により営業純益^{※※}

全体では、前年同期比約400億円減少しましたが、これら顧客3部門では同約500億円の増加となりました(内訳は右の表のとおりです)。

※※営業純益…連結業務純益の内部取引消去等の連結調整前の計数(管理ベース)

リテール部門の営業純益	UFJニコスの新規連結化を主因に、前年同期比約500億円増加し、1,848億円に。
法人部門の営業純益	アジアを中心とする海外業務が好調だった一方、お取引先の信用状況の改善や貸出競争の激化による貸出利や縮小などにより、前年同期比約370億円減少し、5,051億円に。
受託財産部門の営業純益	子会社の増加や、投信関連業務の好調などにより前年同期比約350億円増加し、454億円に。

MUFGのグループ総合力

資産運用・管理

日本マスタートラスト信託銀行

MU投資顧問

確定拠出年金

日本確定拠出年金コンサルティング

証券代行

日本シェアホルダーサービス

JPビズメール

調査・コンサルティング

三菱UFJリサーチ&コンサルティング

三菱アセット・ブレインズ

三菱UFJトラスト投資工学研究所

法人のお客さま向けビジネス

リース

ダイヤモンドリース*

UFJセントラルリース*

東銀リース 日本ビジネスリース

ベンチャーキャピタル

三菱UFJキャピタル

MUハンズオンキャピタル

システム

ダイヤモンドコンピューターサービス

UFJIS UFJ日立システムズ

ファクタリング

三菱UFJファクター

海外

Union Bank of California

三菱UFJセキュリティアーズ

インターナショナル

BTMUキャピタル・

コーポレーション

カード・信販・消費者金融

UFJニコス**

ディーシーカード**

菱信ディーシーカード

アコム

DCキャッシュワシ

モビット

信用保証・不動産調査

三菱UFJ住宅ローン保証

三菱UFJトラスト保証

エム・ユー不動産調査

外貨両替

東京クレジットサービス

(ワールドカレンシーショップ)

不動産仲介

三菱UFJ不動産販売

債権管理・回収

エム・ユー・フロンティア債権回収



MUFG

三菱UFJフィナンシャル・グループ

三菱東京UFJ銀行

三菱UFJ信託銀行

三菱UFJ証券

ウェルスマネジメント

三菱UFJウェルスマネジメント証券

三菱UFJメリルリンチPB証券

三菱UFJ個人財務アドバイザーズ

資産運用

三菱UFJ投信

国際投信投資顧問

ネット証券

カブドットコム証券

ネット決済

ペイジェント

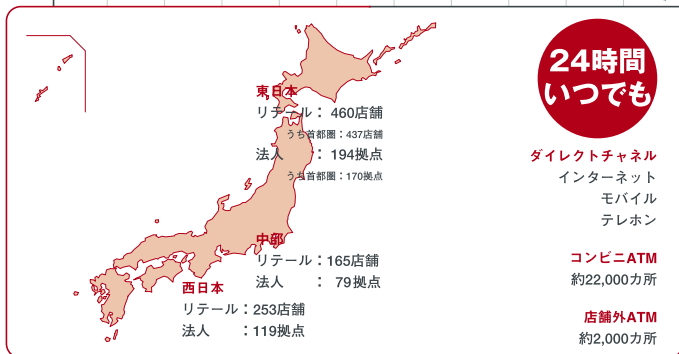
個人のお客さま向けビジネス

*ダイヤモンドリースとUFJセントラルリースは、平成19年4月に合併し、「三菱UFJリース」となる予定です。

**UFJニコスとディーシーカードは平成19年4月に合併し「三菱UFJニコス」となる予定です。

平成19年1月4日現在

MUFGのネットワーク

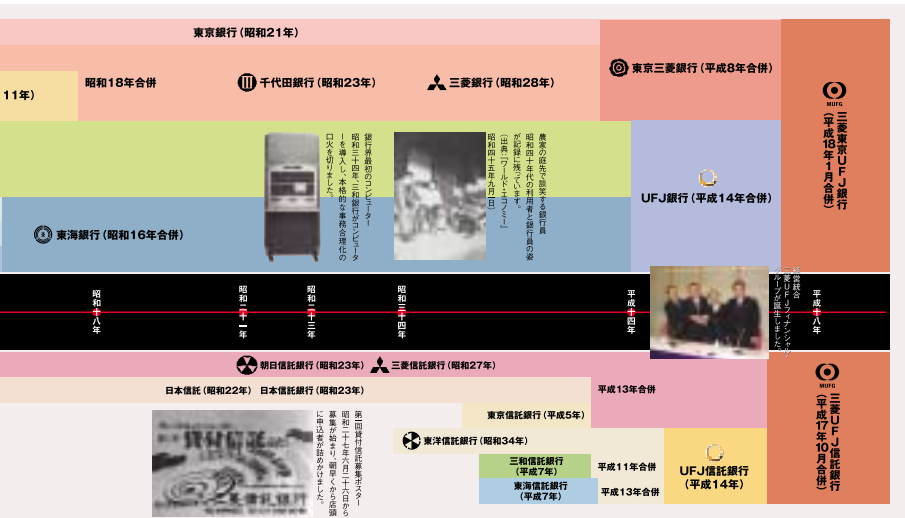


注：リテール…出張所を含む本支店。銀行、信託銀行は振込専用支店などのバーチャル店舗、ローン推進出張所、代理店などを除く。
証券はお客さま向けカウンターを持たない営業拠点を除く。
法人………「法人営業オフィス」を含む。

平成18年9月30日現在

MUFGの歴史

平成17年10月に発足したMUFG。でもその歴史は古く、明治以前にまでさかのぼります。時代の変遷とともに、合併再編を繰り返してきた日本の金融史を垣間見ることができます。



昭和三十九年 東京オリンピック開催
九十四の国と地域の選手たちが東京に、十二日間わたる熱戦を繰り広げ、世界中の人びとを魅かきました。
田島「引退する三和銀行(SZ)歴史(1)」



昭和四十五年 大阪万国博覧会
会期中に六千万人を超える人々が訪れた過去最大の国際博覧会。岡本太郎による「太陽の塔」が話題になりました。
(写真提供:共同通信社)



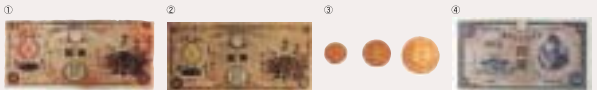
平成十四年 日韓ワールドカップ共催
アジア初のサウジアラビアワールドカップが日本と韓国との共同で開催され、日本が興奮と歓喜に包まれました。



① 懐かしい広告から時代が見えます。全店で出し入れが可能になった東海銀行のコレレヤ普通預金①と三和銀行のネットサービス預金②、千代田銀行③ではテレファックスにより東京-大阪間の送金が5分でできるように、東洋信託銀行④では当時の若い夫婦を応援

横浜正金銀行の支店が、現在も当時の建物を残している。始まるまで明治十七年に出張して来た。

<p>横浜正金銀行 (明治13年) 三菱為替店 (明治13年) 第一百九国立銀行 (明治11年) 川崎銀行 (明治13年) 第三十四国立銀行 (明治11年) 第一百四十八国立銀行 (明治12年) 第十三国立銀行 (明治10年) 名古屋銀行 (明治15年) 伊藤銀行 (明治14年)</p>	<p>三菱合資会社銀行部 (明治28年) 三十四銀行 (明治30年) 山口銀行 (明治31年) 滝池銀行 (明治30年) 愛知銀行 (明治29年)</p>	<p>三菱銀行 (大正8年) 川崎第百銀行 (昭和2年合併) 第百銀行 (昭和8年合併)</p>
---	--	---



① 第一百四十八国立銀行が発行した紙幣、② 第三十四国立銀行が発行した紙幣、③ 明治30年頃の金貨、左・5円、中・10円、右・20円、④ 日本銀行が発行した「兌換紙幣」

三菱信託 (昭和2年)
川崎信託 (昭和2年)



三菱発祥の地大阪西長堤
 土佐藩邸や蔵屋敷はすでになく、守り神の土佐稲荷のみが残存しています。
 (写真提供 三菱経済研究所)



明治三十年代、新橋駅
 大正三年に東京駅ができるまで、新橋駅が東京の表玄関でした。
 (出典:大宅文庫所蔵「風俗画報」明治三十四年十一月十日)



昭和四年、世界大恐慌
 十月二十四日(火)に、三十三丁の「ゆいせいの株元店」で、株主大集會、暴風が急激に強じ、経済の恐慌が長く続きました。
 (出典:「ゆいせいのあゆみ」)

「MUFGのある暮らし」 創刊に寄せて



ディスクロージャー誌 活用編「MUFGのある暮らし」創刊号、いかがでしたでしょうか。

MUFGが誕生して一年余り。お客さまから寄せられるさまざまなお意見、ご要望に真剣に耳を傾け、できることから一つひとつ着実に、サービス向上に取り組んできました。

実は、このディスクロージャー誌も、そのようなお客さまの声にお応えして生まれ変わろうとしています。

MUFGはこれからも、お客さまに「層ご満足いただけるよう従業員一同努力してまいりますので、本誌と私どもへの末永いご愛顧を、よろしくお願い申し上げます。

平成十九年一月

株式会社三菱UFJフィナンシャルグループ
取締役社長

柳信雄 のぶお

グループメッセージについて

MUFGグループは「Quality for You」を
グループメッセージとして、
お客さまとのさまざまな
コミュニケーションの場で展開していきます。

Quality for You

このメッセージには、
「『質』の高いサービスのご提供を通じて、
お客さま一人ひとりの生活や一社一社の事業の
『質』の向上をお手伝いしたい。
そして、こうした活動を通じて
地域・社会の発展に貢献していきたい」
という私たちの想いを込めています。

プロフィール

株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ

設立日	平成13年4月2日
本社所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号
資本金	1兆3,830億円
上場証券取引所 (平成18年12月末現在)	東京、大阪、名古屋、ニューヨーク
長期格付 (平成18年12月末現在)	AA-(JCR)、A(R&I)、A-(S&P)
連結自己資本比率	11.95%



<http://www.mufg.jp/>

株式会社三菱東京UFJ銀行

設立日	大正8年8月25日(明治13年創業)
本店所在地	東京都千代田区丸の内二丁目7番1号
資本金	9,969億円
長期格付 (平成18年12月末現在)	A1(Moody's)、A(S&P)、A(FITCH)、 AA(JCR)、A+(R&I)
連結自己資本比率	12.15%



<http://www.bk.mufg.jp/>

三菱UFJ信託銀行株式会社

設立日	昭和2年3月10日
本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
資本金	3,242億円
長期格付 (平成18年12月末現在)	A1*(Moody's)、A(S&P)、A(FITCH)、 AA(JCR)、A+(R&I) *は預金格付
連結自己資本比率	14.89%



<http://www.tr.mufg.jp/>

平成18年9月30日現在

MUFGは、銀行、信託銀行、証券、カード、リースなど、
主要金融分野でトップクラスの実績を誇る各社が一体となり、
お客さまのあらゆる金融ニーズにお応えします。



※三菱UFJリースは持分法適用関連会社となる予定です。



株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ 経営企画部 IR室

〒100-8330 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)8111(代表)
URL:<http://www.mufg.jp/>

株式会社三菱東京UFJ銀行 広報部

〒100-8388 東京都千代田区丸の内2-7-1
電話03(3240)1111(代表)
URL:<http://www.bk.mufg.jp/>

三菱UFJ信託銀行株式会社 経営企画部 広報室

〒100-8212 東京都千代田区丸の内1-4-5
電話03(3212)1211(代表)
URL:<http://www.tr.mufg.jp/>
